



平成 30 年 5 月 11 日

各位

会 社 名 天馬株式会社

代表者名 代表取締役社長 藤野 兼人

(コード:7958、東証第一部)

問合せ先 執行役員経営企画部長 細越 勉

(TEL. 03-3598-5642)

第2次中期経営計画の策定に関するお知らせ

当社グループは、2019 年 3 月期を初年度とし、2021 年 3 月期を最終年度とする第2次中期経営計画を策定いたしましたので、その概要を下記の通りお知らせいたします。

記

1. 第2次中期経営計画の概要

当社グループは、プラスチック成形業界におけるリーディングカンパニーとして、要素技術である射出成形技術と金型等周辺技術を深耕し高い技術力と優れた商品力によりグローバル化を推進し一段と事業を発展させてまいります。

当社グループは海外売上高比率が7割を超え、海外戦略の成否がグループ業績を大きく左右します。当社が進出している中国及び東南アジア諸国では人件費上昇が進展しており、事業環境が大きく変化しております。特に中国においては、受託製造分野の主要顧客が東南アジア諸国に生産拠点を移す流れが顕著であり、当社が拠点を置くベトナム・タイでは、受託製造分野に対する需要が拡大しております。当社はこうした事業機会を確実に捉えるため、東南アジアへの投資を積極的に行ない業容拡大を図ります。一方、中国では、自社ブランド(ハウスウェア製品)の認知度を向上させ、自社製品分野の収益基盤を確固たるものとすることを重要な戦略テーマと位置付けております。

2018 年 3 月期を最終事業年度とする第1次中期経営計画では、自社製品分野の収益力の安定・強化を方針として掲げ、新製品の市場投入や異素材製品の拡販等に注力し成果を上げましたが、最終事業年度に急激な原材料価格の高騰と運送費上昇に見舞われ、減益を余儀なくされました。第2次中期経営計画においては、これら国内事業環境変化への対策が、国内の自社製品分野における中心課題となります。当社製品の高い品質とサービスの価値を顧客に訴求するとともに、開発・技術・製造・物流の各部門が一体となって原価の圧縮に取り

組みます。特に、製造工程における自動化・省人化の推進は、生産年齢人口の減少というマクロ環境に適応する為にも必須の課題と認識し、全社を挙げて取り組んでまいります。

人材育成については、当社の強みでもある海外拠点の豊富な人材を活かすべく、海外拠点からの日本への研修生・実習生の受入れを通じ、グループ全体の技術力向上に取り組まします。

経営戦略・骨子

- ① 要素技術である射出成形技術と金型等周辺技術の深耕
- ② グローバル戦略の推進:中国自社製品分野の強化、ベトナム・タイへの積極投資
- ③ 国内自社製品分野の採算性改革
- ④ 製造工程における自動化推進
- ⑤ 海外拠点の人材育成強化

2. 経営目標

連結業績目標(2021年3月期の最終年度):	売上高	910億円
	営業利益	45億円
	営業利益率	5.0%

3. 利益還元方針

利益還元につきましては、将来における成長分野への積極的な投資を行い企業価値の持続的な向上を図るとともに、経営環境の変化に対応するための財務の健全性を確保しつつも、引き続き利益還元の充実を経営上の重要課題の一つと位置づけ、配当は1株当たり年間配当金40円をベースとした安定配当を基本としつつ、業績の向上及び経営目標の達成状況により増配を検討してまいります。

また、自己株式の取得に関しましては、フリーキャッシュフローの推移ほか諸情勢を考慮しつつ、株主還元の選択肢として機動的かつ前向きに検討してまいります。

4. 地域別主要施策

(1) 日本

① 採算重視の事業経営

自社製品分野における不採算製品からの撤退及び高付加価値製品の導入等、製品ラインナップの見直しを図ります。また、開発から製品を市場に供給するまでの各段階におけるコストを抜本的に見直し、価格競争力を高めます。

② EC に対応した販売の強化

自社サイトの充実、通販向け製品の開発を加速し、EC 販売を強化します。

③ 車両関連の伸長

西日本の需要が強く、滋賀工場・山口工場を中心に車両関連の伸長を図ります。

(2) 中国

① 自社製品分野の拡大

上海天馬(華東)、天馬中山(華南)の2拠点体制で、中国マーケットを開拓します。中国においても EC チャンネルの隆盛は顕著であり、有力代理店との提携を通じてシェア拡大を図ります。

(3) 東南アジア

① OA・家電関連の事業機会取り込み

OA・家電関連の顧客生産が東南アジアに集中する状況に対応し、東南アジア各拠点に積極投資を行ないません。具体的には、タイ TENMA(THAILAND)CO., LTD.の2工場、ベトナム TENMA VIETNAM CO., LTD.、インドネシア PT. TENMA CIKARANG INDONESIA に集中的に投資を行ない、各工場の能力を最大化して事業機会を取り込みます。

② 車両関連の成長と体制整備

車両関連は高い市場成長力が期待される分野であり、OA・家電関連に続く受託製造分野の柱に成長させるべく、積極的に投資をしております。2017 年4月に本格的に量産を開始したインドネシア PT. TENMA INDONESIA の第2工場と、2018 年 10 月に完工を予定しているベトナム TENMA (HCM)VIETNAM CO., LTD.の新工場を主要拠点として需要拡大に対応する体制を整えます。

【本資料に関する注記事項】

本資料には、当社の方針、業績目標数値等が含まれておりますが、業績目標等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上